

古墳に向けて新里駅を出発する参加者たち



電車と自転車で古墳三昧

新里町など上電沿線で

鉄道と自転車を組み合わせ、上毛電気鉄道沿線の古墳を巡るサイクリングが14日、新里駅と上泉駅を発着点とするコースで開かれた。

「今日は一日古墳三昧(さんまい)」と題した企画で、沿線にある天神山古墳、武井廃寺塔、中塚古墳、峯岸山古墳群、天幕城跡、十二所古墳、荒戸富士山古墳、女堀遺構、今井神社古墳、お稲荷山古墳といった史跡をゆったりと自転車で巡る、約30キロのユニークな旅だ。上毛電鉄友の会が上電と協力して企画した。

友の会など企画

当日は沿線の住民14人が自分の自転車を電車に載せて新里駅に集合。2班に分かれ、ヘルメットを着用し、古墳を目指してペダルをこいだ。

上電友の会では「二昨年立ち上げた企画がコロナや悪天候で延期となり、4度目の正直でようやく実現した」と、ほっと胸をなで下ろしていた。

茶臼山の向こうでバナナ出荷

鳳凰ゴルフ倶楽部が新事業

太田市北部運動公園に隣接するゴルフ場に

「鳳凰ほうおう」ゴルフ倶楽部はかねてから生産に乗り出していたバナナをこのほど、収穫し出荷を始めた。

同ゴルフ場を運営する太田資源開発は2018年に民事再生を申請し、砕石や産業廃棄物処分などの祥和コーポレーション(栃木県

佐野市)の子会社として経営再建、新事業としてバナナ栽培を始めた。「ほうおうファーム」と名付けられた農園は敷地内南東側斜面にあり、高さ6.5メートル

のビルハウスが3棟連なり、面積は約1000平方メートル。ハウス内は20度から30度に温度管理され、高さ3メートルに成長したバナナの木120株には大きな

葉が茂りつやのいい緑色の実がふくらんでいる。バナナのほか、パパイヤやパイナップルなども栽培されている。

バナナは一般的に15〜16カ月で成長するとされており、2020年12月に植え付け今年4月に初収穫を迎え

た。今後は通年で収穫できるように、年間出荷量2万本を目指す。農園を管理する中神洋二さんは千葉大学園芸学部を卒業し中国やベトナムで野菜やバナナの栽培指導を経験。その後、福島県広野町の職員として東日

質チップや堆肥を引く

3)まで。

本大震災からの復興を掲げて、台湾バナナ系の「グロス・ミッシェル」の栽培に携わった。ほうおうバナナもこの品種で岡山県産の「もんげーバナナ」としても知られるもの。中神さんは「糖度が25度と甘くもちもちしていて香りもいい」と話す。

バナナ栽培の最大のポイントは温度管理に加えて土壌作りという。農園には親会社でリサイクルしたがれきをハウスの土の下に敷き、その上に廃材の木質チップや堆肥を引く

ことバナナが好む水はけのよさを実現した。中神さんは「がれきのコンクリートにはカルシウムが入っており、微量要素として植物には必要でバナナの品質には問題ない」と話し、産業廃棄物処分業と農業の相乗効果を生む取り組みにもなっている。

今後は地域の子供たちにはバナナを知ってもらう教育の場にもしたいとしている。問い合わせは同倶楽部(電0276・37・216

4月末、川内公「ゴミ見つけていました」▼講ムページで公開されている島民館近くを流れる 座で「どんなに貴重な昆虫の 田一郎氏の「桐生市地名考」

山田川のほとり 標本でもどこでいつ、だれが で調べてみると「トンノミ」で、草の上で羽を取ったのか記したラベルがな と読み、「取ノ廻」の替え字

接触感染から身を守る!

建物まるごと、抗ウイルス・抗菌対策コーティング

キノシールド

- 日々の消毒から解放
- ウイルスを99.4%不活性化
- 安心安全
- 50mまで52,800円

<キノシールド正規施工代理店>
有限会社 トータルグリーンプ
本社/桐生市菱町2-1842-1 Tel: 0277-20-6607